

ごあいさつ

長崎県立小浜高等学校は、昭和24年に県立口加高等学校小浜分校として開校、昭和35年に県立小浜高等学校として独立し、今年創立76年目を迎えます。地域の方々から「浜高」と親しまれ、これまで卒業された1万2千余名の優秀な先輩方は、国内外のあらゆる分野で活躍されています。これは卒業された先輩方が、校訓である「誠実な人」の精神を社会で実践されてきた結果であると思っています。「誠実な人」とは、常に他者に対し「思いやり」と「感謝の心」をもって接し、自らの強い意志と高い理性で正しいと信じたことを最後までやり遂げる人のことです。

「浜高」の教育方針は以下の4点です。

- (1) 思いやりの心を育み、何事にも感謝の気持ちを持って取り組む「誠実な人」を育成する。
- (2) 「知・徳・体」の調和のとれた、心身共に健康で自主性のある社会人を育成する。
- (3) 小浜高校の生徒として自覚と自負心を養い、協働性・連帯感を深め、明るく創造的な校風を確立する。
- (4) 郷土を愛する心を培い、郷土の核となり、信頼に応える人材を育成する。

本年度の努力目標として、「生徒が創り、動かす学校」「ワンランク上の進路実現」を掲げ、生徒一人ひとりが自分の可能性を自覚し、その能力を発揮できる機会を多くつくること、思いやりと主体性を持ち、他者と認め合い、互いに長所を活かしながら協働する楽しさを経験させることに注力していきます。

浜高では、浜高生の安全・安心を守ることを第一に、生徒自らが「気づき、考え、行動する」の浜高3Kの志を実践することを促し、一人ひとりの成長に向けた指導・支援を丁寧に進めて参ります。このホームページをご覧の皆様には、浜高生及び浜高教職員とともに「チーム浜高」に参画していただければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

長崎県立小浜高等学校 校長 島田 朋成